

a 徳之島5つ子の妊娠・分娩の経過

鹿児島市立病院周産期医療センター

外 西 寿 彦

1. はじめに

わが国における5胎児出産のはじめての経験は当院で、昭和51年1月31日に出産した山下ベビーであるが、我々は55年3月に再度5胎の分娩に遭遇し、幸い現在まで心身両面とも良好な発育をとげつつあるので、その妊娠・分娩、新生児期の状況について報告する。

2. 症例、並びに妊娠、分娩の臨床経過

28才、初妊婦。不妊のため約4年間治療をうけていた。第1度無月経であった。HMG-HCG療法(HMG 150単位×8, HCG 3,000単位×3)を2クール施行したところ妊娠に成功。離島に帰り検診をうけていたが、妊娠22週頃、子宮底が異常に高いことを指摘され来院し、超音波断層にて5胎を確認した。直ちに入院し絶対安静させ、頸管熟化、子宮口1指半開大のため、シロッカー手術を施す。29週頃に入り早産徴候が出現したため、ズファジランの大量点滴療法を開始、なおRDSの予防の目的で β -メサゾン投与を行なった。

表1は32週での5胎児の心音をそれぞれキャッチしたものでNon stress testでは、良好な状態にあることが確認できた。ところが33週に入り腹緊が増加し早産徴候がつまり、自然破水をおこして第1児の手が脱出したため、帝王切開術を施行した。

手術は気管内挿管による笑気・酸素による全身麻酔のもとに、子宮頸部縦切開を体部に延長して行ない、数分の間に5児が娩出し、5名の新生児担当医にわたされ哺乳器に収容された。2表に新生児の出生時の状況をのべた。なお母親の両側卵巣が超手拳大に腫脹し、病理学的にも定形的な多嚢胞性卵巣で、卵巣過剰刺激によるものと思われた。術後は漸次縮少していった。

新生児は第2子のみ1分のApgar-scoreが6点と軽症の仮死を認めているが、臍帯動脈のpHは7.25とよい状態である。なお5人ともRDSは発症していない。

新生児の早期症状を2~3以下のべてみると、

無呼吸発作。全員いづれも無呼吸発作をおこし、room air 低酸素状態になってしまうため、酸素投与をそれぞれ29時間から、245時間にわたり行なった。

無呼吸発作はいづれの児も20日前後続いた。(第3表参照)なお未熟児網膜症は全く発症していない。

次に所謂後期代謝性アシドーシスの発生であるが、第4表にみられるように、生後2日目より母乳投与を開始したにもかかわらず全例が代謝性アシドーシスを発生したが、体重減少、下痢などの症状がなかったので放置していたところ、生後25日前後に全員好転している。

体重増加。第5表は仁志田の子宮内発育曲線にプロットしたものであるが、順調な延びがみられ40週前後では標準域に到達している。次に第 表は頭囲の増加を示しているが、順調な延びがみられるが、第5子が髄膜瘤と水頭症のため急速に増加しているが、脳室腹腔シャント術を施行して正常に復帰した。

血清ビリルビン。軽度の上昇がみられたので光療法を適置行なった。(第6表)

3. むすび

以上、上木5つ子の妊娠・分娩経過および、新生児期の哺育状況について概略をのべた。出生以来現在まで大きなトラブルもなく順調な発育をとげ、きわめて健康に満3才の誕生を徳之島で迎えようとしている。

QUINTUPLET in KAGOSHIMA

part-2

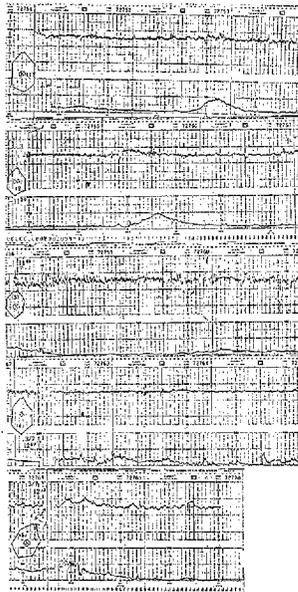


表 1 5児に於ける NST

異常な頻拍とはならない。BPD
1.5mm 以上の差を認める症例
でも、5mm 以上の差を認める症例
(60%) 以上は胎児の呼吸状態の
変動が原因と推定されていると考
えられた。逆に discordant twin を
retrospective にみても BPD の
差を認めない症例もかなりあるこ
とがわかった。しかもこのような
discordant twin の zygosity は
mono zygotic の場合と、dizygotic
の場合とは異なると推定されるこ
とが確認された。このような胎児
の呼吸状態の差には、寧ろ多胎児
の胎児上の解剖学的結果とし、し
ばしば胎児呼吸器の発達不全が原因
していることも疑われる。したが
って PFTS や胎児 malnutrition
を念めて、BPD 上 5mm
以上の差を認める場合は、一時
discordant twin の可能性の存在
を考慮すべきである。胎児呼吸
不全に陥る胎児は特に注意を要す
る。discordant twin では胎児
Apgar Score 低下を認め、胎児死
亡率には差を認めていないが、
胎児期に於けるこの risk があ
ることは報告されている。これ
らは retrospective に検討された
結果である。prenatal に差を認
める胎児の母体は、NST を
施行し、胎児呼吸器に異常を認め
られるかを 10 日以上 check し
ていく方法は、完全な monitor
下でない自宅での経過中、胎児内
でも胎児呼吸器に異常を認める
胎児を予備していることは、
しばしばである。多胎妊娠では
この方法が有用に用いられること
が、このためにできる胎児呼吸
不全の胎児の人数は、VW なら
びに discordant twin にも比し
大きな差を認めている。

表 1

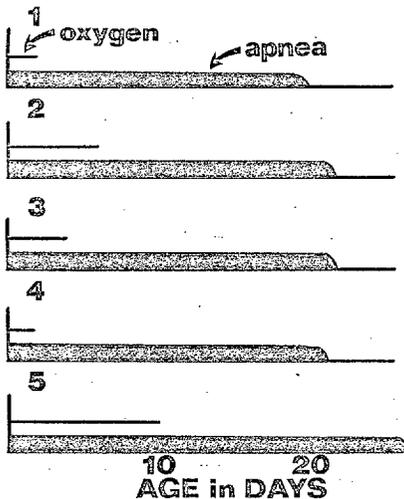


表 3

NO.	SEX	BIRTH WEIGHT	APGAR SCORE	CORD PH
1	F	1400	8, 9	7.26
2	M	1880	6, 9	7.25
3	F	1975	8, 9	—
4	M	1740	7, 9	—
5	F	1520	7, 9	—

表 2

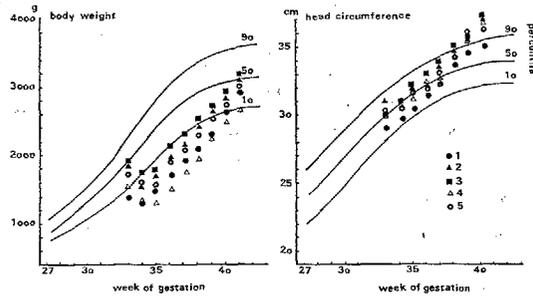


表 5

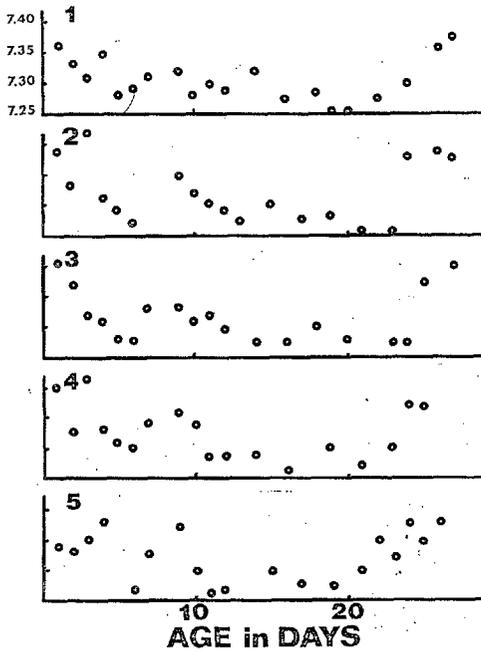


表 4

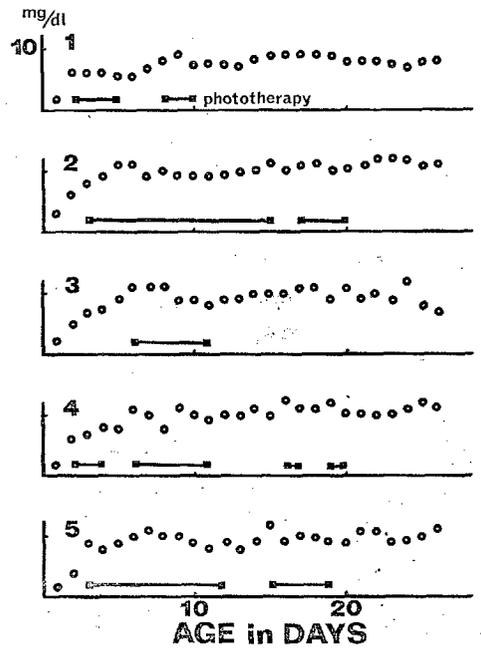
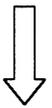


表 6



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1.はじめに

わが国における5胎児出産のはじめての経験は当院で,昭和51年1月31日に出産した山下ベビーであるが,我々は55年3月に再度5胎の分娩に遭遇し,幸い現在まで心身両面とも良好な発育をとげつつあるので,その妊娠・分娩,新生児期の状況について報告する。